

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

1. 講 師 神戸大学医学部附属病院 血液内科 講師  
片山 義雄 先生
2. 演 題 興味の対象を理解するために対象外に眼を向ける  
ことの重要性
3. 日 時 平成27年10月29日(木)17:30～19:30
4. 場 所 M&Dタワー9階 大学院特別講義室4
5. 要 旨

現代の臨床医学は、発症している疾患の体系的な病態記述と各種ガイドラインに代表される診断・治療の画一化に舵を切ってきました。しかし、発症に至るまでに各所で発せられていたであろうかすかな現場のサインをすくいあげ、少ない証拠ながら病態考察を広げていく、いわゆる「センス」を生かしていくシステムでもあります。同じ事が基礎研究の世界にも起こっています。不思議なことに、現場のかすかなサインは見ようとしているもの以外のところに顔を出している事が少なくありません。血液内科ないしは一般内科臨床医として、現場のサインを基礎研究に持ち込む手法で得られた経験を例に、眼を向けるべきものについて皆さんと議論してみたいと思います。

連絡先: 中島 友紀 (分子情報伝達学分野 内線5472)